

平成28年度 御杖村社会福祉協議会 事業報告書

少子高齢化の進行や単身世帯の増加に加え、先行き不透明で不安定な社会経済情勢の中、社会的孤立や孤独死等の問題が深刻化し、地域では様々な暮らしの課題が見られています。

人々の生活スタイルや価値観が多様化するとともに、地域では人と人、社会と人とのつながりが希薄になり、既存の制度では対応できない生活支援のニーズや孤立、生活困窮を背景とした深刻な生活課題が表面化してきています。

介護保険制度や福祉の諸施策の実施により、地域福祉の推進がより求められ、高齢者や障害者等に対する介護予防や支援、福祉サービスの充実、また高齢者世帯に対する地域での支えあいや見守りが、必要不可欠となってきています。

このような状況のもと、平成28年度の活動については、来年度からの介護保険制度の改正を見据え、住民のニーズを的確に捉えながら、村・社会福祉施設・民生児童委員・元気思いやりサポーター・ボランティア・社会福祉諸団体・保健医療機関等との連携を密にし、本協議会が地域の福祉力を支える専門機関として、下記のとおり各種事業の推進を行い、地域福祉のより一層の充実と安定を図りました。

1. 社会福祉協議会の組織の充実

○ 職員の研修

県内社協事務局長及び職連等の職員研修会 16回、宇陀郡自立支援協議会 6回、ケース会議及び担当利用者との打ち合わせ 41回、介護保険関係研修会 4回、地域医療連携研修会 2回、東和地域包括研修会 6回、改正社会福祉法研修会 3回、介護予防実務者研修会 2回、相談支援業務研修 5回、相談支援従事者現任研修 2回、介護予防専門員更新研修 4回、認知症等研修会 3回、その他キャラバンメイト養成研修、生活支援コーディネーター養成研修、地域福祉推進ネットワーク会議、発達障害者支援機関連絡会議、地域生活定着支援センター研修会等に参加し、職員の資質及び意識の向上を図りました。

2. 福祉活動、福祉思想の普及

- 第38回御杖村社会福祉大会の開催 10月12日
- 日本赤十字募金運動の実施 (5月) 募金額325,005円(0.8%増)
- 共同募金運動の実施 (10月) 募金額222,752円(3.8%減)
- ボランティアグループ ふれあい喫茶(毎週木曜日実施)

3. 地域福祉活動の充実向上

○ 在宅福祉サービス事業の推進

- ・地域福祉ネットワーク事業

ボランティア登録の推進(個人登録41名、団体登録4団体)

地域サロン活動(元気にしとる会)の推進、支援

14地域(1地域増)で毎月1回実施(神末一上村・中村・西町・東町男・東町女・敷津男・敷津女、菅野一全域・上郷、中野、土屋原一堂前・峯・中村、水口・大野、桃俣一全域) 延べ参加者1,271名(49名増)

- ・高齢者食生活改善事業(ふれあいお食事会)

年4回実施(5/24、8/3、10/19小学校で給食、3/15)

延べ参加者158名(20名減)

○ 障害福祉サービス事業の推進

- ・障害者、児相談支援 6件(2件減)

4. 介護保険事業等の実施

○ 地域包括支援センター事業

- ・相談受付業務 38件(8件減)

- ・元気、思いやりサポーター研修会(村保健福祉課と共同)

年3回実施(4/11、6/21、3/23) 延べ参加者37名(11名減)

- ・介護予防支援事業(要支援者の予防プラン作成)一委託含む 延べ762件(1.5%減)

○ 居宅介護支援事業

- ・要介護者の介護プラン作成 延べ518件（45.9%増）

5. 過疎地有償運送事業（デマンド交通）の実施

- ・利用者登録者数 男45名、女128名 計173名（19名増）
年齢（40歳代1名、50歳代3名、60歳代15名、70歳代51名、80歳86名、90歳代17名）
- ・利用実績
192日間延べ858名の方が利用（39名増）

6. 会務運営

○ 理事会、評議員会の開催

- ・平成28年5月25日（平成27年度 事業報告、決算等）
- ・平成29年1月10日（新定款の承認等）
- ・平成29年3月3日（平成29年度 事業計画、予算等）

○ 評議員選任、解任委員会の開催

- ・平成29年2月21日（新評議員の選任等）

○ その他

- ・民生児童委員協議会及び、福祉関係団体との連絡調整
- ・村老人クラブ連合会運営に関する業務
- ・身体障害者福祉協議会及び母子寡婦福祉会の事務局
- ・高齢者文化教室（手芸、歌謡教室等）運営に関する業務
- ・生活福祉資金貸付に関する業務
- ・善意銀行に関する業務